

(5) 経費等に関する評価チェックシート【②収支状況（経営健全化）】

(単位：千円)

	収支計画 (A)		決算額 (B)		(B) - (A)	備考
	金額	積算基礎	金額	積算基礎		
医業収益 ①	3,466,476		3,124,324		△ 342,152	
入院収益	2,813,622		2,505,816		△ 307,806	
1日平均患者数 (人)	141.0	一般62.5人、包括39.5人、回復期39.0人 (稼働率)	141.3	一般63.0人、包括39.6人、回復期38.4人	0.3	一般:90床、包括:45床、回復期:45床 (稼働率)
単価 (円)	53,342	一般72,000円、包括36,500円、回復期40,500円	48,454	一般61,942円、包括36,054円、回復期37,921円	△ 4,888	
外来収益	599,394		570,316		△ 29,078	
1日平均患者数 (人)	222.0	診療日数：243日	210.3	診療日数：243日	△ 11.7	
単価 (円)	11,212		11,160		△ 52	
その他医業収益	53,460	室料差額収益、保健予防収益 等	48,191		△ 5,269	
医業費用 ②	3,652,467		3,402,693		△ 249,774	
給与費	1,952,338		1,826,667		△ 125,671	
材料費	507,771		496,071		△ 11,700	
経費	1,192,357		1,079,955		△ 112,402	
事業収支 (①-②)	△ 185,991		△ 278,369		△ 92,378	
医業外収益	193,959		231,422		37,463	
政策的医療交付金	170,985	720千円×180床+救急病床分5床として算出	170,985		0	
その他医業外収益	22,974		60,437		37,463	
医業外費用	3,184		△ 5,688		△ 8,872	
医業外費用	3,184		△ 5,688		△ 8,872	
経常収支	4,784		△ 41,260		△ 46,044	
経常収支比率 (%)	100.1	(医業収益+医業外収益) / (医業費用+医業外費用)	98.8	(医業収益+医業外収益) / (医業費用+医業外費用)	△ 1.3	
医業収支比率 (%)	94.9	医業収益/医業費用	91.8	医業収益/医業費用	△ 3.1	
給与費対医業収益比率 (%)	56.3	給与費/医業収益	58.5	給与費/医業収益	2.2	
病床稼働率 (%)	78.3	稼働病床180床	78.5	稼働病床180床	0.2	

評価の定義

- 期待どおり又は期待以上
- △ 事業の実施に問題はないが一部に改善の余地有り
- × 事業の実施に支障有り。或いは法令違反有り。

自己評価	自己評価分析
△	5月にコロナが5類に移行し、通常診療体制に移行しました。コロナ関連の補助金が合計27,468千円と前年度から大幅に減少したことに加え、歯科口腔外科を開設したことによる設備投資や人材確保による初期費用が大きくなりました。歯科口腔外科は1月に開設し、今後収益を増加させていく計画ですが、歯科口腔外科を開設したことによる費用の増加が大きく、経常収支では△41,260千円となり、赤字となってしまいました。令和6年度以降、これまで通り手術及び断らない救急医療に力を入れて行くことに加え、歯科口腔外科及び循環器内科の収益を増加させていくことで、費用の増加を補っていくことが重要であると考えます。

市評価	評価所見
○	新型コロナウイルス感染症が5月に5類となり、通常診療体制となったが令和6年1月に開設した歯科口腔外科開設に向けた投資等が影響したため経常損失となっている。しかしながら、常勤医師が増加したことにより入院患者数が大きく増加するなど診療体制は拡大していることから、さらなる患者数の増加に期待できる。循環器内科や歯科口腔外科を中心に医業収益の増加を見込めるため経常利益を期待できる。